

を問う

3月19日の一般質問で
7人が村の考えをたきました。

Q

井田晴己 議員



内閣府が発表した南海トラフ巨大

地震が発表された南海トラフ巨大地震を含め四連動の大地震が発生すれば耐震

化について、南海トラフ大地震が破堤すれば浸水はまぬがれない

Q. 日光川右岸堤防の耐震化は済んでいるのか
A. 今後も治水施設の整備を強く要望していく

地震での愛知県の被害額は、30兆円余りであり、避難者数190万人の想定がされました。我々、住民が安全で安心して生活できるような質問します。

日光川右岸堤防の耐震化について、南海トラフ大地震が破堤すれば浸水はまぬがれない

補強された堤防は破堤することはないと考えますが、日光川右岸堤防（宝川排水機から梅之郷）については、耐震補強はさ



日光川右岸堤から飛島大橋を望む

井田 晴己 議員

- ・日光川堤防の耐震対策は済んだのか
- ・スクールバスの導入をせよ

加藤 光彦 議員

- ・飛島聖苑への進入道路整備の早期実現せよ
- ・三郷霊園から元松神社までの村道の通行規制をせよ
- ・飛島学園5年生・6年生に教科担任制の拡充をせよ

伊藤 秀樹 議員

- ・老人クラブの活性化をせよ
- ・公共施設のトイレを洋式にせよ
- ・村内業者への発注状況はどうか
- ・線量計の使用状況はどうか

橋本 渉 議員

- ・TPP協定への参加反対せよ
- ・小中学校の給食費無料化せよ

鈴木 義男 議員

- ・飛島村津波避難計画は

渡邊 一弘 議員

- ・公園等施設の管理及び補修はどうか
- ・飛島聖苑はどうか

服部 康夫 議員

- ・避難所(一時)の進捗状況はどうか

策 施

と思います。

津波よりも先に浸水すれば避難施設があっても避難することができなくなり、より多くの犠牲者がでることとなります。

日光川は愛知県の管理ですが、村長として、愛知県への日光川右岸堤防耐震補強等の陳情はされているのか併せて伺います。



久野時男 村長

A 愛知県海部建設事務所にて現状を確認したところ、日光川右岸堤防の宝川排水機場から梅之郷地区において、

中央防災会議が発表した、南海トラフ巨大地震における堤防の耐震性の検証はされていないとのことです。

南海トラフ巨大地震により日光川の堤防が破壊

すれば多大な被害が発生すると予想していて、本村としても、流域自治体で構成されています。日光川水系改修促進期成同盟会から、東日本大震災後の日光川堤防の耐震補強を要望しています。また、治水事業は住民の生命財産を守り、安全、安心な社会形成を図るうえで、最も重要な事業です。今後も治水施設の整備を積極的に推進していただくよう強く要望します。



通学団

Q. 児童生徒が安全で安心して通学できるよう スクールバスを導入せよ

A. 児童の通学対策について今後も 検討していく

井田晴己 議員

Q 平成21年9月議会でスクールバス

についての一般質問がさ
れ、村長は飛鳥学園まで
の距離が最長で3・5km
で、教育委員会、小中学
校と検討した結果、子供
たちの体力育成を図るた
めスクールバスの導入を
見送ることとされました。

しかし、昨今では通学
団へ車が飛び込み悲惨な
事故が後を絶たない状況
であります。

村長

A 現在、飛鳥学園
では6年生までは

通学団による登下校、7
年生から9年生は自転車
通学となっています。

本村では、そのような
事故はありませんが、不
審者の出没もあると聞い
ており、父兄からは児童
生徒が安全で安心して通
学できるようスクールバ
スの導入をしてもらえな
いかとの要望もあります
ので、今一度検討してい
ただきたいと思ひ質問し
ます。また、平成18年2
月文部科学省から都道府
県教育長へ登下校時に
おける児童生徒の安全確保

のための路線バス等の活
用についての通知が出さ
れており、本村では公共
バス、コミュニティバス
を運行されていますので、
コミュニティバスを朝夕
だけでもスクールバスと
して利用できないか検討
していただけないか伺い
ます。

まず、主な集合場所か
ら学園までの通学路には
カラー塗装が施してあり、
視覚的にも児童生徒が目
立つようにしています。
次に、不審者対策も含め、
交差点等で安全配慮が必
要と思われる箇所では、
シルバー人材センターに
委託し、登校時には7カ

所、下校時には1カ所の見守り誘導員を配置しています。

なお、4月以降は登校時7カ所を8カ所に増加する予定です。

現状では、交通安全指導委託やスクールガードによる見守りが効果的かと判断しています。

現段階では、スクールバスによる登下校ではなく、児童生徒の体力育成を図るという学園開校時の考えを引き継いで、通学団による登下校を継続していきたいと考えています。

次に、コミュニティバス

をスクールバスとして

きます。

現在の蟹江線のご利用の多い通勤・通学の時間帯、特に朝の運行数を確保したままでの、スクールバスとしての利用は難しいと思っています。

児童の通学対策については、今後も検討していきます。



大宝地内を走るコミュニティバス

Q. 飛島聖苑への進入道路整備の早期実現を求める

A. 一刻も早く整備することが重要だと考えている



加藤光彦 議員

つ頃を目処に進入道路を新設する見込みなのかお尋ねします。また、進入道路に関わる用地買収の計画についての説明も併せてお尋ねします。

本年2月から国道302号線の飛島大橋関連の工事が始まり、かねてから村に要望していた飛島大橋南信号交差点から聖苑への進入道路整備を早期に実現し、利用者の利便性の向上を求めるものがあります。これまでの説明では、聖苑への進入道路の新設は国道302号線の工事に絡めて行うとのことでした。その工事が飛島村内に差し掛かってきた現段階において、い

2月末に国交省の補正予算が付いたことにより、国道302号線の工事が加速されることも予想されます。警察や国のすり合わせを円滑に進め、測量・用地買収・図面作成などを速やかに進め、早期実現に向けて最大限の努力をしていただくことを要望します。

村長

平成25年度から用地測量を行い、交差点工事計画を立て、併せて信号交差点の協議を公安委員会（蟹江警

察）と進め、協議が済み次第、工事着手に入っていく計画です。おおよそ、いつ頃をめどに整備をする見込みかについては、国土交通省は平成30年度に全線の完成を目指していることから、本村としましては、平成28年度末頃を完成の目標年次として、関係機関並びに地元との協議を速やかに進め、一刻も早く整備することが重要であると考えています。また、用地買収の計画については、聖苑側はありませんが、反対側（西側）において、一部用地買収が必要となります。用地買収についても、できる限り国へ強く要望をしていきたいと考えています。



早期整備が求められる302号交差点

国は、補正予算が可決されたことにより、名古屋環状二号線梅之郷北高架橋（専用部）の下部工事の入札が予定されていて、一般部の工事も進んでいくことは十分予想されます。今後においても、現在、国と協議を進めています。国と協議を進めていますが、地権者、地元関係者との調整にも時間が必要です。いずれにしても、事業実施に伴い、工事中はいろいろとご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

Q. 三郷霊園から元松神社までの村道の通行規制を実施せよ

A. 早急に蟹江警察署と協議して進めていく

加藤光彦 議員

Q

三郷霊園から元松神社までの村道

は朝夕、県道の混雑を避けるためバイパスとして通勤の車がかなりのスピードで走行しています。

同時時間帯は登下校する子供たちがその道を横切る時間でもあり、地域住民にとっても一番行き来が多くなる時間帯です。

また、保育園の送迎にも日常的に使われている道路です。こういったことから非常に利用頻度の高い生活道路であるといふことが言えると思えます。関係地区では以前からその危険性について問題視する声が多く寄せられています。大きな事故が起きる前に何らかの対策が必要ではないでしょうか。警察と連携を図り、どんな対策ができるのか、また、どんな対策が有効か、ご検討いただき関係地区の理解と了



朝夕はかなりのスピードで車が通る

村長

承を得た上で対策を実施していただくことを要望します。

理者として、何らかの対策について考える必要があると思っています。

A

運転者が安全な速度で走行をしていただければ、この問題は解決されると思えます

どちらの対策を実施するにしても、地元など関係者には、利用に際してご不便をおかけすることとなりますが、両面からの対策の推進が、より有効な対策であると思っています。ご理解とご了承をいただければ、具体的な対策について、早急に蟹江警察署と協議して、

本村としましても、公安委員会（蟹江警察）に相談をしています。有効な解決は見つかっていません。しかしながら、大きな事故が起きる前に道路管

Q. 飛鳥学園5年生・6年生に 教科担任制の拡充を求める

A. 教科担任制の拡充を進めていく

加藤光彦 議員

小中一貫教育校

Q

飛鳥学園が開校し

て3年が経過しました。

学校行事等を見ていると、子供たち同士のつながりという点では一体感があり、効果として表れていると思います。しかし、小中一貫教育による学力面での成果は明確な結果を得るに至っていません。開校から3年が経過し、「取り組み」に対し注目されていたこれまでと違い、これからは「成果」が求められる段階に入ってきたと思います。

小中一貫教育校のメリットを十分活かし、より効果的な教育を実施することで学力レベルの向上を図っていくべきと考

村長

施設一体型の小

A

中一貫教育を推進

して3年が経過しました。

より専門的で効率的な教育の推進を求めるものがあります。しかし、ただ単に教科担任制を拡充するだけで学力が急に上がると思えません。肝心なのは教科担任制により、子供たちがその教科に対して興味を高めることや学習方法の要領を得ることだと思います。子供たちの自主性や学習意欲を向上させるような質の高い教科担任制の拡充を求めます。

また、中一ギャップの要因の一つに学級担任制から教科担任制への移行



6年生教科書

があります。教科ごとに担当教諭が代わることに上手く切り替えができず、学習に支障が出てしまうというものです。これを軽減するために、学園では開校当初から中等部において教科担任による授業を段階的に増やしています。具体的には、兼務発令による中学校教員の小学校への乗り入れ授業の実施や、専門教科を有する教員による専科授業の実施など、学年や小中の壁を外すことで教科担任制の充実を図ってき

ました。しかし、学園における教員の配当については、通常の小中学校と同様、小学校と中学校別々に教員が割当てられます。小規模校ゆえの割当て教員数の少なさや、乗り入れ授業が可能な教員と教科数の限定など、なかなか小学校で教科担任制を実施することが難しいのが現状です。そんな中、平成22年度の開校から本年度まで、英語・図工・音楽・家庭科において、教科担任制を行っています。平成22年度は6年生の社会で、平成23・24年度は6年生の理科で教科担任制を行っています。

来年度については、国語についても教科担任による授業の拡充を考えています。

今後も兼務発令をして小中学校間の壁を外し、工夫しながら教科担任制の拡充を進めていきたいと考えています。

Q. 老人クラブを活性化せよ

A. 老人クラブ活動に対し適切な援助に努めていく

担が大きい。

・老人クラブに入ってから、年寄り扱いされるのが心外だ。

他にも原因はあると思いますが、このようなことが考えられます。老人クラブの入会は強制されるものではありませんが、新規の入会が進まない、このままでは老人クラブの存続が危惧されます。

Q 最近老人クラブに入会されない方が増えたと聴きます。

- ・高齢化が進んだためか年齢層が広がり親子ほどの年齢差が生じている。
- ・老人クラブに入会するメリットが見いだせない。
- ・入会してすぐ状況が分からないのに役員になることが多く不安。
- ・役員になると例会に出ても多忙で楽しめず負



伊藤秀樹 議員

私もそんなに遠くない将来に入会してお世話になると思っていますので安心して参加できる、キラリと光る老人クラブになってほしいと願っています。

村長

A 再就職の増加や近所付き合いの希薄化などにより、老人クラブへの入会者が減少している中、現在、飛鳥村

ふれあいの郷内の「敬老センター」では、60歳以上の方または老人クラブの会員の方々に対して、生活・健康の相談に必ずしも、機能回復訓練の実施、研修会・講習会及び教養の向上、趣味娯楽のための便宜を供与して、また、健康の保持増進のため「ふれあい温泉」もご利用していただいています。

Q. 公共施設のトイレを洋式にせよ

A. 再度、検討をしていく

伊藤秀樹 議員

Q 一般家庭において洋式トイレの設置が進んでおり、和式ト

イレがないところが多いのではないかと考えられます。特に、小中学生では和式トイレになじめない子供が多いようです。南部体育館のトイレは全て和式です。体育館の利用状況をみると、ほぼ小学生児童の利用が大半で、親や指導者からトイ



老人クラブ例会

レに困ったという声が聴かれます。よって、南部体育館に洋式トイレの設置をお願いします。

平成23年9月議会において洋式トイレの設置をお願いした時に「利用頻度の多い箇所から順次設置を考えている。」との回答でありました。

その後の設置は当然進んでいるものと思いますが、最近の設置状況を報告いたします。

今後、設置する予定かお聞かせください。今どき、トイレに行って洋式が一つも無いというのは時代遅れでキラリと光る村と言うにはあまりにもお粗末です。



南部体育館

村長

A 南部体育館の現在の利用状況は、

本村が支援するミニバスケットボールスポーツ少年団の利用が主体となっており、利用状況は毎週2日程度であるため、洋式便器への改修の時期を考慮していましたが、要望を踏まえて改修に向けて取り組んでいきます。

なお、総合体育館については、1階に障害者用の洋式トイレと女子用トイレに1カ所の計2カ所設置してあります。

中央公民館棟には、多目的トイレとして表示をし、広く一般の方々に利用いただける洋式のトイレが各階に設置してあります。

また、先回ご質問以後、役場庁舎内のトイレに洋式便器の設置を検討しましたが、洋式便器に切替えるには、スペースが狭いため、変更することは難しいと判断をしていますが、再度検討をさせていただきます。

改修のいかんを問わず、中央公民館同様に障害者用トイレの利用方法について一般の来庁者の方々に利用できるよう工夫する検討をしていきます。

村長

A 平成24年4月以降の発注状況は、

入札件数は81件で、内訳としては、工事31件、委託37件、物品購入13件です。うち、入札81件中、地元業者の指名選定は30件で、40%弱です。

また、育成を目的とした効果は、指名業者として選定され、入札等で落札、受注されていることから、地元業者の公共工事に關して、技術の向上が図られていると共に、地域経済の振興と活性化という観点においても向上が図られていると考えています。

Q. 村内業者への発注状況は

A. 受注可能な案件については

機会の確保をしている

伊藤秀樹 議員

Q 平成23年12月議会的一般質問において、地元企業を優先的に活用するよう要望したところ村長の回答は「村内業者の育成を目的として指名選定している」でした。

発注状況。育成を目的とは、どのような育成をしてどんな効果があったか。についてお尋ねします。入札には5社以上で行うと聞いていますが、ある市町村では地元業者がある場合は、その中だけ入札をするようになっています。飛鳥も早くそのような

発注状況。育成を目的とは、どのような育成をしてどんな効果があったか。についてお尋ねします。入札には5社以上で行うと聞いていますが、ある市町村では地元業者がある場合は、その中だけ入札をするようになっています。飛鳥も早くそのような

発注状況。育成を目的とは、どのような育成をしてどんな効果があったか。についてお尋ねします。入札には5社以上で行うと聞いていますが、ある市町村では地元業者がある場合は、その中だけ入札をするようになっています。飛鳥も早くそのような

・その後の地元企業への

飛鳥も早くそのような

願っています。